

研究課題：数値実験に基づいた甲府盆地における持続可能な地下水利用の提案

### 研究内容

本研究の目的は、甲府盆地における持続可能な地下水利用量を定量的に明らかにすることです。本研究対象領域である甲府盆地は、現状、地下水障害は生じていません。しかし、甲府盆地における地下水位は年々上昇傾向です。従って、近未来において、様々な影響が顕在化する可能性があります。甲府盆地の涵養源の一つである釜無川と釜無川上流域の降水量の増加傾向が認められるため、今後も地下水位が上昇する可能性があります。甲府盆地は釜無川と笛吹川の河川が幾重にも氾濫を繰り返し形成されているため、液状化しやすい砂・礫層が厚く堆積しています。以上より、引き続き地下水位が上昇し続けると推測される地下水環境は、液状化のリスクを上昇させる要因となるため、防災の観点から好ましくなく、対策が急務であります。また、本来なら使用できる地下水を利用しないのは、経済的に損失です。そこで、本研究では、非定常3次元地下水モデルを用いて、地下水障害が生じず、持続的に利用できる地下水揚水量を明らかにすることです。

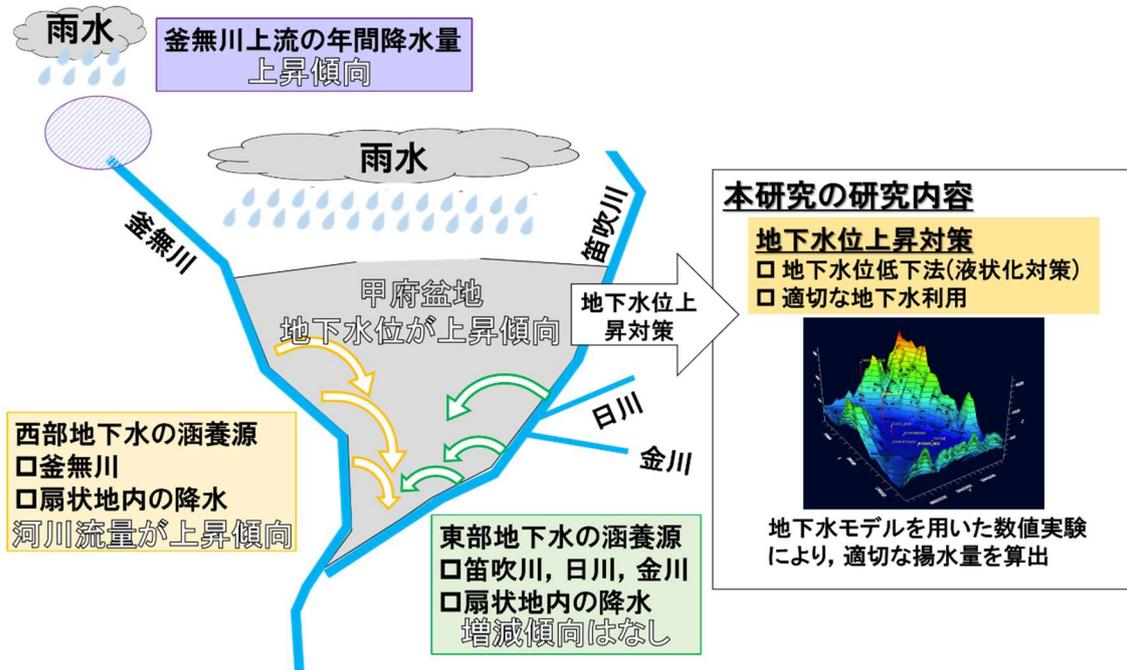


図-1 本研究の概要